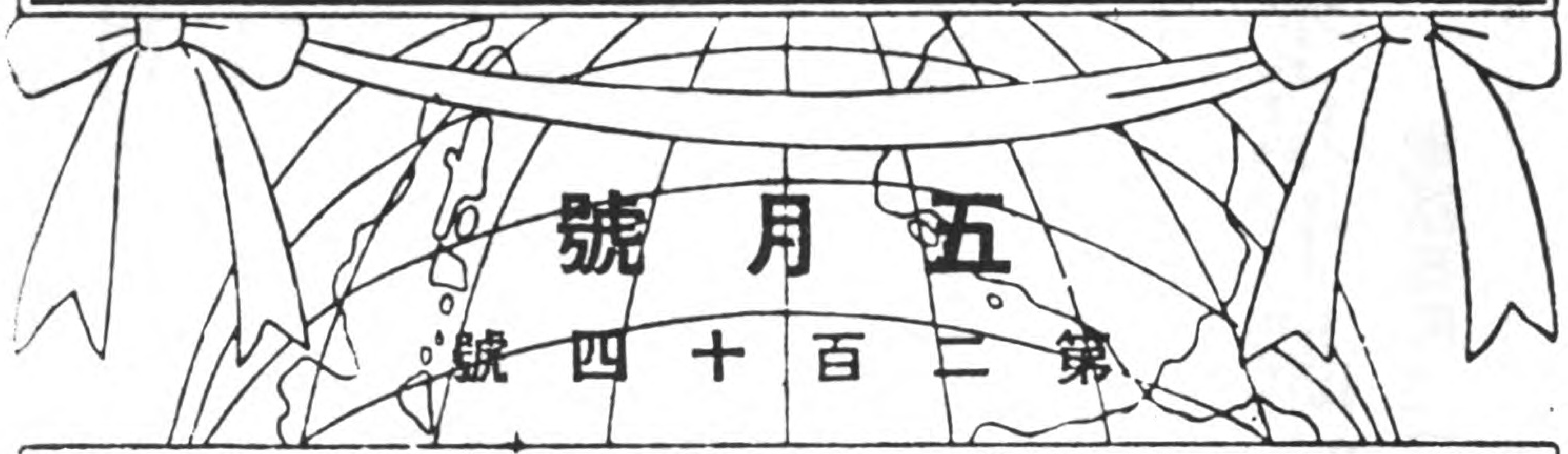
婦人新報



五月號

第二百十四號

（大正四年[illegible]二十六日發行）

婦人新報第二百十四號目次

人の和に若かず　矢島揖子

矯風事業の二方面　高島平三郎

子女敎育に及ぼす社會の影響　安井哲子

矯風の根本問題　廣岡淺子

社會矯風と婦人　山室軍平

第二十三回大會記錄　會場書記

宗敎文學より受けたる恩惠　松本雲舟

霜の王樣　安中花子

或る日の夕餐　木村[illegible]非子

各地通信
本部、麴町、下ノ關、牛込、京都、水戸、弘前

英文　杉本鉞子

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵税共）
一部（前金） 金六錢
六部（前金） 金三十五錢
十二部（前金） 金七十錢
（郵券代用一割増）
◎廣告料
一行（五號活字） 金十錢
編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人揺風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年四月廿六日印刷
大正四年四月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島偖
編輯人 高原季
發行所 婦人新報社 東京赤坂區溜池町三番地 婦人揺風會事務所
印刷所 丸利印刷所 東京神田鎌倉河岸

No. 214 MAY, 1915

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Noting is so great as the Power of Unity in Mankind. Madam Yajima.
Both sides of the W.C.T.U. Work. Prof. H. Takashima.
Influence of Public Sentiment in the Education of Youth. Miss Tetsu Yasui.
The Foundation Stone of the W.C.T.U. Madam Hirooka.
Woman and Reformation. Col. Yamamuro.
The Minutes of the 23rd Convention. The Convention Secretary.
Blessing gained from Religious Literature. Mr. Unshu Matsumoto.
The King of Frost. Miss Hanako Annaka.
A Certain Supper. Mrs. Kamei Kimura.
Reports:— Headquarters. Kojimachi. Shimonoseki. Ushigomo. Hirosaki. Kyoto. Mito.
English Department;— A Brief Sketch of the Convention. Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人の和に若かず

矢島楫子

△わが會の一進歩

この度京都に開催された第二十三回基督教婦人矯風會大會には、全國から七十七名の代員が出席して、未曾有の盛況を呈しました。代員と申すのは、會員廿五名に對して、一名を選ぶ權利があるので、今回の如きも未だ全體の會員に相當する丈け、代員が殘らず出席したと申すのではありませぬが、例年に比して餘程の增加を見るやうになりました。これには會員の自覺が加はつて來たといふ事もありませうが、從來はこれ等代員に對しては、大會開催の支部で、滯在費一切を支辨し、云はゞ客として饗應して居たのでありますが今年から會費自辨といふ事になりましたので、出席者に權利が出來てきたばかりでなく、先方を多勢の客が押しかけて蹈みつぶしてはならぬといふ遠慮などもなくなつたので、各地ではかねて心掛けて積んで置いた費用の許す限り代員を出席せしめたのでありませう。これは兎に角會の遣り口に順序が立つたので、一進歩と見る事が出來ます。

△時機到來

また今回の大會に於て感じました事は、社會の表立つた方面が非常に動いて參つた事であります。開會中大隈首相は遙々懇ろなる祝辭を寄せられ、京都府知事、同令夫人は會に出席せられて、知事は祝詞を述べられ、令夫人は祝文を朗讀せられ、其の他市長も大學教授も

教育家も、新聞記者も、多大の興味を以て、援助を與へられました事は、稀れに見る所でありました。これは單にわが矯風會の爲め許りでなく、社會が基督教主義に對して、漸く注意を拂つて參つた證據でありませう。關西の基督教界を見て、上下擧つて面目を新たにし、振起の機運のめざましいことは、實に意外で、これではわが東京は耻しいと思はれました。然し今回東京に歸つて協同傳道の景況を見ますと、毎回會場には千三百から千五百の人が押しかけて、尚ほ滿員の爲めに殘念ながら入場を斷らなければならぬ者が多數であり求道者は數十人宛記名して歸るといふ有樣を見て、時機到來の感に打たれざるを得ませぬ。

△基督教界の一大進歩

昔の諺に「天の時は地の利に若かず、地の利は人の和に若かず」と申すことがありますが、今日のわが日本に到來した基督教の時機も、これが圓滿に後と始末をつけるには、地の利、人の和が必要であり、殊に人の和が行はれて、宗教界に先づ平和が來なければなりませぬ。基督教と一概に申しても、樣々の宗派がありまして、各會員は所屬の派に固着し、首領株が跋扈して、宛然割據の狀態で、從つてさま〲の暗闘が行はれるといふ弊風がありましたが、世界の基督教界は漸く此處に反省して、キリストの御旗の下に各派聯合して、一大運動を試みるといふ協同傳道が發議せられ、我が日本より着々其の運動を試みるやうになりました事は、實に基督教界の一大進歩でありまして、今後は益〃協同の精神を完うして、キリストの爲めに、私を捨て、互に相扶け、相勵まして、人類の救ひに向つて働らき度いもので、古來聖賢のなか〲に得難しとした人の和が、今やわが基督教界に來らんとすることは何よりも喜ぶべきことであります。

△誇りとするは基督教主義

今回の協同傳道の一日は矯風大會として、社會事業講演の爲めに割かれました。矯風會、禁酒會、廓清

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會、救世軍から各代表者が出てお話をしましたが、これまた非常な盛會でありました。私も矯風會を代表して一場の講話を試みました。その節述べました事はわが矯風會は明治十九年の設立にかゝり、當時はまだ赤十字社も衛生會も教育會も愛國婦人會も夢にも見られなかつた時代で本會は實に凡ての婦人會の母であります。以來三十年、その行路は實に多難でありましたが今日迄續いて參つたのは實に基督教主義によるのでありますとて、わが會の誓約文を朗讀し、その誓約にある禁酒禁煙に就ては、禁酒會あり、風俗の改善を促すに就ては廓清會あり、慈善救濟に關しては救世軍があり、各の主張は其の専門に讓つて、これを省きませう。さりながら、人間は悔い改めて、神に歸らなければ、到底これ等の善行を爲す力を與へらるゝものではなく、またこれ等の働らきは、その持ち場を異にこそすれ、決して相反するものではなく、一つの傳道に外ならぬのであると申しました。

△信仰の焔を分て

わが矯風會も、この天の時を空にせず、善き收穫をなさんが爲めには、先づ人々の間に平和が來なければなりませぬ。それには一層基督者の修養を怠らずして、わが心に先づ平和が來なければなりませぬ。眞實に矯風の實を擧げやうとするには、物質の活動では纏らず人の心の奥深く潜んで居る靈の革命を促さなければなりませぬ。それには傳道者自らが深い力を蓄へる事が肝要であります。大會に出席せられた代員方は、其の所屬の部に歸つて、待ち迎へる會員方に、或は大會の模樣、事務の報告、わが所感等を述べ、大なる希望を以て今後の方針を定めらるゝでありませうが、何よりも先づ大切なる土産は、聖別されたる靈によつて、新たに燃えたる信仰の焔を分ち、凡ての働らきの原動力を與へることでございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矯風事業の二方面

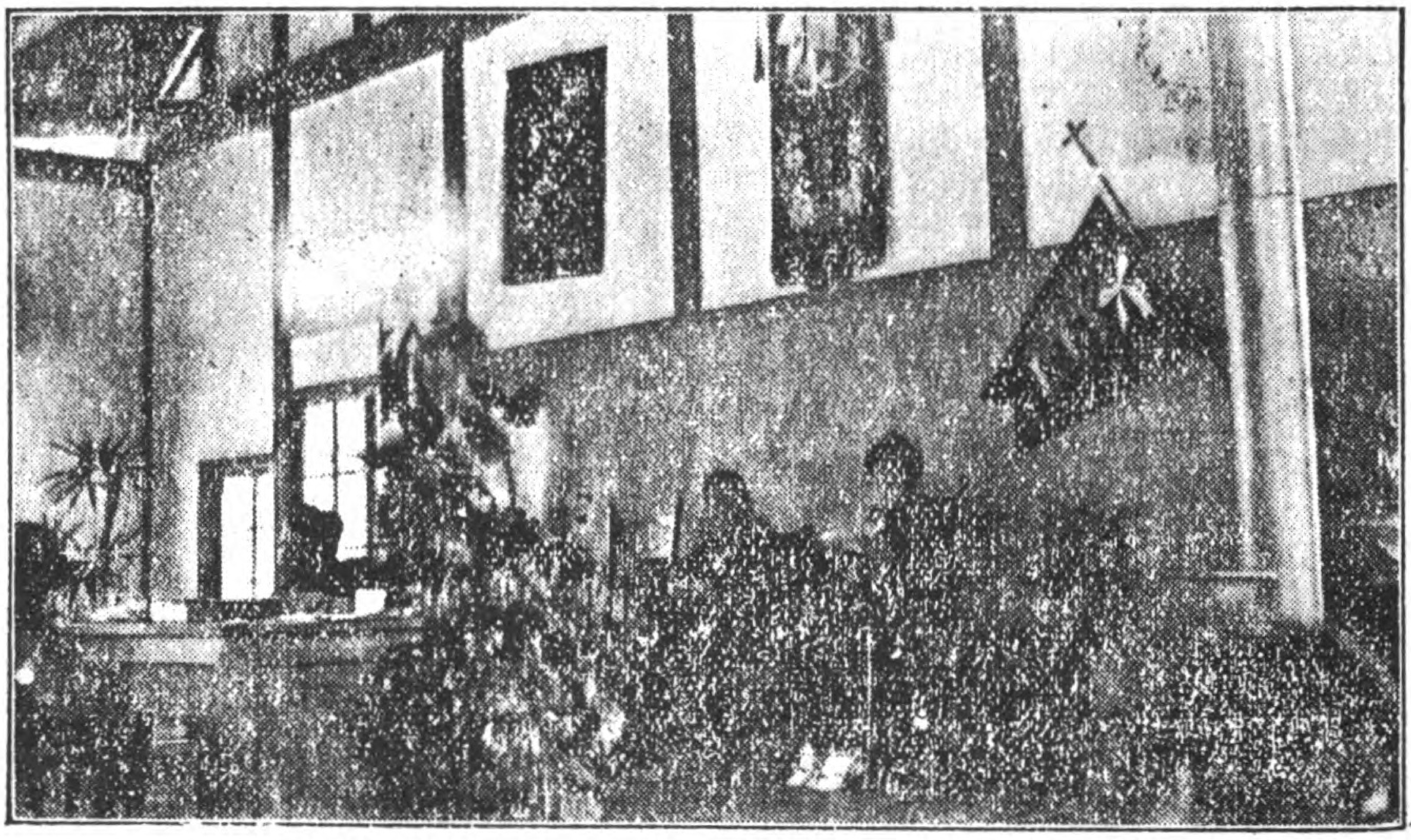
高島平三郎

△實利上より禁酒の必要

私は敎育者の立場より婦人矯風會の事業に多年贊同してゐた。而してその事業の發展を望んでゐたのであるが、この矯風會の事業は獨り宗敎家のみに委せ置くべきものでなく、敎育者たる者も之れに盡す所あるべきと思ふ。

然らば此の矯風の必要如何。吾々個人の發達を考ふるに、吾等のなす行爲が一つの習慣となり。而して善をすゝめ惡を打破し、よい習慣の固りをつくつて行く事が人間の生涯に成つてゐる。それと同じく社會に於ても社會の惡風を打破し善をすゝむる處に社會の進步があるのである。我が日本も世界八大強國の一、世界の一等國となつた事は目出度い事である。大正の御稜威の下にある事は慶賀に堪へん所であるが、國の品位より見る時に我國はまだ〳〵他國に遠く及ばない所がある。無論日本にも良い點はある。外國にも惡い點はある。然し他國にある惡と雖も、日本國にはあり度くないものである。どこまでも他國の長を見てその短を補ふべきであると思ふ。今日我が國狀を見、大より小に至るまで改良すべき點は澤山ある。或は品位上或は實利上その必要を感ずるのである。一個人にしても金の爲め奴隷の生活にあるものもある。何でも善い家、善い食、善い衣服と騷ぎまわつてるやうな事では仕方

がない。すべての悪習を打破しなければならん。社會上より云ふても同じであつて實利上先づ改善の必要を認むるものはアルコール問題である。露國は酒を賣る事を禁じた。英吉利も之れを實行せんとしてゐる。その理由を聞いて見ると露國が日本軍隊の眞似をしたのであると云ふ事だ。然し自分には之れがうけ取れなかつた。尤も日本の酒と露國の酒とは違うので、彼れのは日本の燒酎のやうなのであるそうだが、日露戰爭の時、戰に行かれた軍醫によく聞いて見ると、日本兵は實際酒を飲まなかつたのであると云ふ。實戰に立つ時酒を飲むと苦しくつて戰



京都に於ける第二十三回大會會場

壇上にあろは矢島會頭と古田とみ子女史机な前にせろは藤井かう子女史

はれないのである、それで飲めと云ふても飲まんのであると云ふ事を始めて知つた次第であるが、この一例をもつても酒は實利上禁ずる必要のあることは明らかである。

△品位上改善の急

又品位上と唯單に云ふても餘り抽象的である故にその一例を擧げれば、文學博士の中島力造先生は、日本の倫理學者の代表者として外國にも名ある人であるが、或る時先生の外國の舊友が訪ねて來て、口に云ふも憚かるやうな處に案內せよと云はれて困つたと云ふ事を話されたのを聞いたが、之れによつて我が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國民の品格が外人に輕く見られてゐると云ふ事が分る。又婦人の人格が認められてない事をも知る事が出來るのである。風習といふのは生活の一の形式である。先づ生活が如何にあるやを考へ、風習の發達をはからねばならん。元來生活にも內面と外面とある、精神的思想上の生活が是れ內面的生活であつて、內面生活が外面にあらはれて外面的生活となるのである。この兩面を考慮し嬌風しなければならん。

△內面生活の嬌風

文明國人として複雜を極めてゐる內面生活の嬌風に必要な力をのべて見やう。元來人間は社會を形成して生存してゐるもので、孤獨の悲哀と云ふ言葉がある位で、孤獨程人間に取つて苦しいものはない。人間は孤獨である事は又不可能な事である。孤獨と死とは、一步隔つたばかりである。社會學者のギデングスは、社會の基礎は同類意識であつて、その活動の原動力は同情である、と云ふた。同情にも色々の意味があらう。基督は愛を說き、孔子は仁、佛は慈を說いた、然し是れ皆その名異つて意の同じきものと思ふ。而して又印度の此頃の宗敎家、豫言者として知られてるタゴールは世界の根本原理として愛を說いてゐる、基督の愛と異つてゐるかどうかは知らんが、兎に角愛を說いてゐる。愛の働きをなしてゆくものは同情であると思ふ。而してタゴールは尙ほ云ふて居るのは「愛は全き理解の別名なり」と、理解と云ふ事は非常な力であつて、理解の對象が我れ等の生の根源をなしてゐるものと思ふ。愛は理解であると云ふ事は內面生活に苦んだ人に分る事である。自分を理解して吳れるものがない、と云ふ事は同情して吳れる者がないと云ふ事である。これが嬌風に取つての內面的力である。

△同情の力罪人を蘇らす

同情はどれ程の力を與ふるものであらう。同じ表情を相互があらはす丈けの同情でも一種の力を與ふる。子供が生れて如何云ふ時に可愛くなるか、無論生れた

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時から可愛いが、此方が笑ふ時に子供も笑ふと云ふ時からその可愛さが痛切に感ぜられるのである。又お隣り同志、「お寒うございます」と云へば向ふも「お寒うございます」と云ふ、此の共鳴する處に云ふに云はれない愛が感ぜられる。泣くものと共に泣く、喜ぶものと共に喜ぶ、そこに非常なる力を感ずる。父母にも兄弟にも語る事が出來ず、一人苦んでゐる時、そこに心情を語り得る一人の友ある事は如何にその人に力を與ふるものであらう。其處に友なければその心を知り合ふ神あるを信じ得る人は如何に幸ひであらう。十數年前東京に針金强盜坂本某なるものがあつた。針金で人を縛つたり、人殺をしたり、放火をしたりする大罪人、捕縛せられても逃げるに巧みで、監獄の役人などを何とも思はない「貴樣等は俺れ等が居るので飯が食ふて行けるのだ、有り難いと思へ」と云ふやうな調子であつたのである。是れが最後に市ケ谷の監獄に入れられた。其處に四十年も奉職してゐた藤澤某なる典獄が居つた。坂本は高い所に小さな窓のある暗い、小さな、敷物もない獨房に入れられてゐた。冬の頃であつたので彼は震ふてゐたのである。藤澤氏はそれを見て可哀相に思ひ、看守に夕日のさしてゐる所に座らせよと云ふて行かれた。その單純な言がその囚人に非常なる感動を與へた。やがてそこを通つた看守に「俺れはもうあばれない、安心しなさい」と云ふた。看守は初めの中は本統にしなかつたが、餘り眞面目に云ふので何故かと聞いて見ると、彼は曰ふた、自分は今迄は惡い事をした、然し自分でも眞面目にならうと思はないではなかつた、けれども家に歸つてどんなに賴んでも飯一杯お湯一杯呉れないといふ有樣である。そこで自分も惡いには惡いが世間も薄情なものだ、敵手である。敵手のものなら盗むのがあたり前だ、取れる丈け取れ、と云ふ氣になつて今日に至つたのである。處が今日典獄から「可哀相だ寒からう」と云はれたが、此の一言が私の心底に徹し、再び逃げる氣にもなれないのであると、眞に悔ひ改めた心で云ふた。此處に於て彼れ針金强盗は復活した。裁判所に行つても一切を白狀し、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

模範的囚人になつた。彼が死刑に處せられる時はどうかして赦してやりたかつた。然し法を破る事は出來ないから致し方なかつた、彼はニッコリ笑ふて絞首臺の露と消えた、と涙をもつて藤澤氏が語られたのを聞いたが、同情の力は大いなるものである。救世軍の働きなどの中にはかくの如き例も澤山ある事で「再生の人」と云ふ本には、極惡非道の人が信仰により立派な人になつた事が書いてある。

△自覺ある所に同情あり

同情の力は相互に自覺する時に起る、自覺にも三つあると思ふ。その一は内省である、二は社會の位置、家庭の事情を知り社會的自覺、自我の自覺が起つて來る所のその自覺、第三は所謂自己を絕對に結びつける宗敎的自覺、而してどの意味に於ても自覺する處に同情が起る。人を思ひやる心なきものは、劣等なるもので、高等なる人は自己よりも他人を愛するのである。家庭に於ても夫は妻を思ひ、妻は夫を思ふものでなければならん。東京に於て立派な生活をしてゐる人が、貧民生活を羨んでゐると云ふやうな事があるが、是れ等は同情の缺陷による。嫁と姑の折り合がつかんと云ふのも同じである。親子、主從皆な然りである。私の知つてゐる人で子は文學者、父は銀行事業をやつてゐると云ふ人がある。その父はつまらない事に金を澤山使ふ人で、子供に法學を學ぶやうにせしめたが、子供は文學が好きなので文學を勉強した。そして創作を出そうと云ふ事になり、父に二百圓の出金を願ふた。父は下らん事であるとしてこの事に反對し金を出してやらない。子は怒つてしまつた。そんな方は親ではないと云ふて家出をすると云ふ有樣。私はこんな悲慘な事はないと思ふ。理解のない甚しい例である。

△公德も同情から

公德と云ふ事も同情によつて出來る事と思ふ。無論外面よりの壓迫によるものもあるけれど、眞の公德は同情より來る。古い話であるが、柔道の先生の加納某

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氏が日清戰爭の頃外國に渡つた。或る宿屋について船中で知つた英國人と同室した。夜中に用事があつて室を出なければならない事が起り、止むを得ず室を出やうとした。當時は靴と云ふても日本にはよい靴がなく、鳴り皮を入れて鳴るやうにして穿いたもので、丁度室から出やうとした時、靴が非常に鳴るのである、その時同室の英國人は小聲で、隣室にプリンスが居るから靜かにするやうに、と云はれた、それで自分は踵の方で歩いた、それ程英吉利人は親切で、人を思ひやる、處が日本に歸へて間もなく仙臺に行つて宿つた。夜中に大きな音をたてゝ騒ぐ人がある。酔んだくれが醜業婦を連れて騒いでゐるのであつて、私はその時日本人と外國人はこれ程違うものかしらと思ふた、と先生が話して呉れたのを知つてゐる。これ等は思ひやりのない處から起る無禮儀である。

△男女間の問題と同情

男女の問題も大きな問題だが是れによつて解かれると思ふ。今日人間に取つて直接最も恐しいものが三つある、花柳病、酒精中毒、結核である、男女の關係も道德上宗教上純潔を保つやうにすべきであるが、一面思ひやりの心あれば相互の純潔を保たれ、恐るべき病氣にかゝらなくともよいのである。飲酒喫煙を禁ずる事も同情心によつて容易に出來得る。嘗つて大倉騎兵中將が大阪より奈良への一等車中にあつた、其處に一人の佛蘭西人が乘り合せた。又品格のよくない男が二三人の女と共に途中から乘つてふざけちらす。中將はその佛蘭西人に氣の毒でたまらなくなり、日本人は皆こんな人ばかりでないのですから、とあやまつたと云ふ事である。是れも他を省みる事をしない一例になると思ふ。

社會の壓迫よりに非ず、中心より湧き出づる同情の嬌風はのぞましいものである。然しこれは理想であつて中々出來難い點もある。故に他方に外面的生活をも終めねばならん。前者を感情によるとせば後者は意志によるのである。

△外面生活の矯風

規約、法律等を以て矯風の實を擧げるのである。冠婚葬祭、其の他宴會等の事にも規約をつくり、時間を嚴守する事、飲食をつゝしむ事等互に矯正するのである。一體禮儀は貴族的文明の弊である。或る人が曰ふた、日本の文明は貴族的で西洋の文明は平民的であると。成程日本の着物は人を使ふやうに出來、西洋のは勞働に適するやうに出來てゐる。その意味で貴族的かも知れん。然し兎に角民主主義でなければならん。婦人を馬鹿視するやうな事ではならん。一婦人の力と雖も大いなるものである。越後の長岡に山口淸子といふ人がある。長岡は石油の出産地、從つて物質主義の處である。さればその裏面には悲慘な事が多くあるのでこれを見た彼の女は大いに風俗改良につくさねばならんと決心し、夫に相談し又東京に出でゝ名士を訪ね、その意志のある處を語り、基督敎の名をもつて　却つて反感を惹起すを恐れ、此處に「風俗あらため會」なるものを起したのである。或る時此の婦人が汽車に乘つて居つた、丁度その列車に長岡で名高い實業家が五人許りの醜業婦を連れて乘り込んで居つた。やがて彼が彼女の同車を知つて、今迄騷いで居つたのが急に靜かになり、女等は寶丹仁丹と大騷ぎして病氣にでもなつたのかと思ふてる、その內次ぎの驛につくと、その車より彼は降りた。そして隣りの車に乘りうつつて小さくなつてゐたと云ふ事である。正義の爲めに働いてゐる一婦人の感化が彼をしてその行爲にまで至らしめたのである。

鹿兒島に一つの公德會なるものあり、風俗の改善の爲め大いに盡してゐる。色々の個條書きの中には、時間を嚴守する事、役場の人に時間を取らせない爲めに納金の時には、釣錢の要らないやうに持つて行く事、と云ふやうなのがあつた。かくしてその風習を矯正する事が必要であると共に、娛樂の對象についても考ふる處がなければならん。活動寫眞はその一例であるが、靑年男女の心を挑發させるやうなものは禁じなければ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ならん。横濱に一人の子供が居つて、泥棒を働き人を殺さうとまでした。よくその動機を聞いて見ると、活動寫眞で強盗がうまく逃げる寫眞を見、自分も一つやつて見やう、と云ふ氣になつた所よりであると分つた。

△英國の大學殖民事業

とにかく凡て社會に行はれて居る惡事は社會的制裁を加ふる必要がある。是れ外面的に意志的方面より矯める事である。然し之れも窮窟にしてはならん。それには各自の趣味を高むる事をはからねばならぬ。

英吉利に大學殖民と云ふ團體がある。大學の學生が貧民の趣味を高める爲めに働いてゐるものであつて、貧民窟に行つて大家の書及音樂等を見聞させるのである。日本の大學生にして果してこんな事が出來るであらうか。大學生間にしてやらなければならん位と思ふ。一人でも二人でもその趣味を高むる事が出來たら、それ丈け矯風に益する所があつたので、前者を消極的と云へば後者は積極的とでも云ふべきものであらう。相互に力を盡して矯風事業を助け度いと思ふ。

第廿三回矯風大會決議文

今秋御卽位式ノ大典ヲ擧行セラル、ニ際シ基督教婦人矯風會第二十三回大會ハ左ノ件ヲ決議ス

一、公會ノ席上ニ醜業婦ヲ侍セシメザル事、其他凡テ風俗ヲ紊亂スル行動ノ取締ヲ嚴重ニセラレン事ヲ其筋ニ請願スル件

一、精神的記念運動トシテ今後滿六年ヲ期シ公娼全廢ヲ議會ニ請願スル件

大正四年四月二日

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子女教育に及ぼす社會の影響

安井哲子

△子女を周る三つの社會

參會の方々は子女教育について學究的によく御存じの方であると思ひます。私が無智にして皆樣方の前にその教育上の御注意などを述ぶるは不可能な事でございます。それで只此處に私の實驗談に添えて所感を述べて見やうと思ふのであります。

　私は此處に述べんとする社會の影響と申すことを廣義に取ります。卽ち第一には子供が生れて家庭に成長する間家族から受ける影響、自分の父母の人格によつて兒童は家庭に於て如何にる感化を受けつゝあるか。その父母の愛信の子に與ふる影響、兩親が祖父母を親として仕へる有樣、兩親がその兄弟に如何に接してゐるか、と云ふが如き、是等が子供に與ふる大いなる影響は如何でありませうか。家庭に於て無意識の間に或は有意識の間に與ふる感化が先づ第一に道德的影響を與へつゝあるのであります。次ぎには學校に於て先生より受くる感化であります。兩親に於けると同じく、先生の人格はその兒童に大いなる影響を與へつゝあります。生徒の時代を離れ、先生の職にある吾々が、生徒の時に如何なる感化を先生より受けたかと思ふて、自らの先生たる事に對し恐怖を感せざるを得ないのであります。第三には社會一般の感化であります。道德的方面より云ふて、時代思潮が如何なる徑路によつて影響しつゝあるか、人と人との接觸、又近代の新聞雜誌其の他種々の書籍にあらはれてゐる事柄が吾々に如

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何なる影響を與へつゝあるか。是等は既に學者間の論題に屢ゝ上つて居る事であります。然し私は先輩の方々の議論を眞似やうとはしません。女子たる私の側から、殊に女子の教師としての側から、年來心を痛めてゐる事を經驗上から述べて見たいと思ふのでございます。

△新聞雜誌の感化

男女御列席の前で特にお若い女學校の方々の前で、私の話す事が如何なる影響を與ふるかと云ふ事を思ふて一種の苦痛を感じてゐるのであります。若しも語るその話が惡影響を與ふるやうな事があつては、私がこの壇

京都少年禁酒軍のメダル受領者

に上つた用をなさない事となるのでありますが、良い教育を受けて居られる方々であるから、間違つて與へた影響をも、學校或は家庭に於て拭はれる事と思ひ、自らを慰めて居る次第であります。新聞雜誌の與ふる惡影響の一つとしては男女關係であります。これが爲一に若い女を教育しなければならぬものにとつての苦勞の種であります。東京に於ける大抵の新聞には近頃若い男子女子からの色々な告白が載せられてあります。これは讀む若い人々に強い刺戟を與へ、何かの參考の爲め又は讀者の興味を惹かんが爲めかも知れませんが、教育上かゝる事は誠に困る事であります。家庭に於て新聞な

とは若い男女の害にならないものを撰擇する事も出來ますが、それにしても幾分惡い分子も交つて居るので、全然理想の新聞を見せるといふ事は出來ないのであります。而してその記事について子供等より質問を受け赤面しなければならん場合が度々あるのであります。かくの如き事は純潔なる處女として持つべき精神を養ふ上に大いなる邪魔物となり、却つてその純潔なる處女の精神を曇らす事なきやを恐るのであります。新聞雜誌のみならず、東京などに於て勞働者が諧謔的に異性の事を口にして居る事が處女の耳に入るのであつてその爲め惡影響をうける事も多いのであります。電車内に度々斯くの如き事を見受けますが、いつも若勢の種となるのであります。これ等の事が家庭、及び學校に於ける子女の敎育を妨げる事は大きいのであります。

△暹羅の少女と貞操

私が嘗つて暹羅に行つて女子の世話をした事があります。その苦心談を少し試み度いと思ふてゐるが、若し間違つた事を云ふたら御用捨を願ひます。暹羅の人は見かけの上からは日本人に似て居ます。容貌などもよく似てる所より大層親切にして貰う事が出來ましたので、不束な私も信頼せられて勤まつた次第であります。暹羅は暑い處で、十二月一月ですら袷、或は單衣に羽二重位の氣候で、正月のお祝ひには絽の羽織を着てお雜煮を頂くといふ有樣であります。然るに日本では八月頃になると暑くて暑中休暇をするが、暹羅は暑い間でも五時間位の稽古を續け、尙ほ生徒は熱心に勉強して居ます。私共は中食の時いつも着物を着換へなければならぬ位でした。暹羅の子にも良い點は澤山あるはあるが、女子の敎師として三年間 私の心を痛めた事は女子の貞操問題であります。無論女學校の生徒が貞操がないと云ふのではないのですが、風俗上貞操と云ふ感じをすら與ふる事が出來なかつたのであります。風俗上若い人に貞操に關する事を云ひ兼ねたのであります。若しその問題を說く時には兩親を呪はしめ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會を呪はしめる恐れがあるのであります。私は三年間如何にして貞操の觀念を彼等に與へたらよいかと云ふ事に苦心して遂に出來得なかつたのであります。只誠實な心をもつて親又は其の他の人々に接すれば貞操ある者となる事が出來ると云ふ位にとゞめて置くより仕方がなかつたのであります。多年の間他國の少女を世話し、道德問題についてその精神を與ふる事が出來なかつた處の此の苦痛を思ひ、學校に於て善良なる精神を子女に與へんとする時には家庭及び社會の感化と戰はねばならず、而してその如何に困難なるものなるかをつくづくと感じたのであります。

△外國人の日本婦人觀

而して又私が外國にあつて外國人と共同生活をした經驗より、個人として眞面目な生活をしても一方に於て一國民としての責任を負はなければならぬものであるといふ事を感じました。個人が人間として充實せる生活を送らうと思ふても、自分は日本國民である、自分に接する外國人は個人としてよりも、日本國民として自分を見る、而して日本國民が自ら考へて居るやうな國民性でなく、外國人の考へて居る國民性を以て考へられるので、或る時には自分は個人以上に見られ、或る時にはそれよりも低く見られるのであります。婦人に對しては日本婦人と云ふ名の下に見られます。外國人の眼に映じた日本婦人と云ふものによつて個人が取扱れるのであります。遲羅に行く時にその船の船長は獨逸人でありましたが、船長の食卓で外國の婦人及び日本の婦人等と共に食事をする榮譽を擔ひました。その席上で船長が云ふには「日本の婦人は海外に餘り渡らない、渡航するにしても中々困難だ、その理由は斯く斯く」と、之れを聞いた私は不愉快を感じました。外國人の習慣として船長たる者はお客の感情を害しない話をするのが禮儀作法であると自分は思ふて居ました。然るにお客たるしかも婦人たる私共に、聞くだに忌はしき話をせられたので、私は侮辱せられた感が頻りにしたのであります。その時辯解的な事を云ふ

は云ひましたが、船長の云ふた事にも事實があつたのであるから仕方がありませんでした。かやうな事から見ても日本婦人全體に對する信用を回復するに非ざれば、個人の事を考へても駄目であります。然らざれば外國に行く時に日本婦人として人知れず苦痛を持たなければならぬと切に感じました。外國にある日本婦人の成功と否とは内地に於ける婦人の信用如何によるのであると思ひました。この點より見ても婦人が眞面目な精神を養ふ事がどれ程大切であるかゞ解ります。

△英吉利の或る馬車屋

これには女子自ら力を盡さなければなりませんが、また大に男子の援助をも要するのであります。私は及ばず乍ら教育に從事して居る間、教師として熱心であるばかりでなく、社會の一員としてその風俗改善に益有ると思はるゝ事に間接に力をつくし、學校に於ける教育を容易ならしめ度いと思ふてゐます。而して學校と社會、家庭に共通なる精神があれば、子女教育にどれ程有力なものであらうかと思はれます。その一例を擧げて見ますと、私が英吉利に友人を訪ねた時の實驗でありますが、英吉利に於て學校や家庭、社會が期待してる精神は誠實といふことであると言ひました。處が私が友人を訪ねやうとして乘つた馬車屋は不誠實なものでありました。友人の門口に私が降りた時馬車屋は法外な賃金を請求しました。私は女として馬車屋と賃金の事について談判する事は困難な事であると思ふたから、友人の家に入つて西洋人の女中を呼んで來やうと思ふた、所が生憎女中も日本人であつたので仕方なしに又私が出て馬車屋と談判をしました。「私は英吉利人は誠實な人であると聞いて居ました。如何なる階級の人でも不正な事をしないと思ふて居ました。私は日本に於て「英吉利人の誠實」と云ふ熟語を先生から聞かせられた事もあります。所が今あなたがかくの如き法外な請求をする事によつて英吉利にも不誠實な人があると知りました。私は誠實であると信じてゐた英吉利人の中にかやうな不誠實な人のある事を悲し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く思ひます」と云ふやうな事を云ひました。馬車屋も直ぐ悪かつたと云ふ事も出來ず、色々の口實を云ひながら、幾分の金を返して呉れました。遲羅あたりでは目前で人を打つても打たぬと云ひ、門衛が金を取つて人を通し乍ら金を取らぬなど丶云ふたりするやうに、明らかな出來事を直ぐ否定する人々と、此の馬車屋の事を對照し馬車屋も中々人の云ふ事は聞いて呉れないであらうと思ふて居たのに、英吉利人なる彼れは幾分を返して呉れた。金そのものよりも返して呉れたと云ふ事實を嬉しく思ひました。

△車掌に向つての道德的談判

又或る時英國で電車に乘りました。丁度小さなお金がなかつたので車掌に大きな金を出しました。所が車掌は僅かの釣錢より返して呉れません、車掌が又來たら云ふてやらうと思ふてましたが中々來ない、降りなければならぬ間際に、私の隣りへ一人の客が乘つたので、車掌は止むを得ず私の傍に來た。それで車掌に談判をすると、中々言を左右にして返して呉れない。そこで前の馬車屋の時と同じく道德的談判をし、外國の習慣を知らない人に對し卑劣な事をする事は金よりも悲しく思ふ所であると申しました。隣に乘り合してゐた婦人が、車掌が悪い、金をお返しなさい、と云ふて呉れました。又十五、六歳の少女も見て居つたと云ふて加勢して呉れたので、車掌は澁ぶ々々ながら金を返して呉れました。私はその時思ひました。何故自分は馬車屋又は車掌に憤怒の情をあらはして、不正を反省させやうとせず、道德的談判を試みたのであらう。英吉利人は誠實を標榜してる人々であるから、誠實に對し恥を感ずるであらうと思ふたからであつたと考へたのであります。家庭、學校、社會の三つの場所に於て、協力して、斯くの如き精神を吹き込んでおく事が必要であると存じました。

△兵力富力以上の强さ

以上私は家庭、學校、社會に於て、個人が受ける

影響が同じ精神により、同じ方向に働く時には、如何に強いものであるかを思ひ、同時に學校の教師として他の力に反對して行く事は如何に困難な事であり、而して一方家庭、社會に於て、子女に與ふる影響を注意する事は、學校に於ける教育を如何に容易ならしむるものなるかを説いたのであります。

歐洲に於ける大戰爭後、日本國民は色々の困難と戰つて行かなければなりませぬ。その時代に當つて子女教育に從前の如き考へを以てしてよいであらうか、と云ふ事は深く考へを要する事であります。國の强さは必ずしも兵力や、富力によるものでない、而して兵力、富力は直接子女に關するものでない、兵力、富力以外に國民を强うするは人格にあると思ひます。然れば此點に注意し、子女教育に於て人格養成に十分の力を拂はねばなりませぬ。

矯風の根本問題

廣岡淺子

立派な題をかゝげてはあるが、何も分らない一人のお婆さんの話すのであるし、もはや時間も大分進んで居るやうであるから、只一言所感をのべて壇を降りたいと思ふ。

社會に於ける道徳、汽車、電車其他に於ける公徳問題、醜業婦問題等は、消極的に矯正するの必要あるは無論の事であるが、これ丈けでは物足らない點があるやうに思ふ。卽ち神を畏るゝ精神を普及する事によつて根本の廓淸が行はれるのであると思ふ。現在我が國民の間には神を知らない事によつてあらゆる罪惡は行はれて居るので、北濱銀行の事の如き、海軍事件の如き皆そこに起因するものであつて、何とも云ひやうがな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い忌はしいことである。地位も何もない人ならいざ知らず、名ある位ある人が獄にひかれてゐるではないか。彼れ等は只肉慾のゆくがまゝに従つて、その内なるものを知らない爲である。然し如何に世が文明に進み科學が發達したと云ふても、人間には靈と肉との二つがある事は否定する事の出來ない問題である。肉のみ養ふて靈を省ずして如何で道義が行はれやう。宇宙の神の前に砕けたる心をもつてひれ伏し祈る時、神は是れに應答し給ふのである。不肖私も神の前に悔いし砕けし心をもつて出でたる事によつて罪は許され、力ある生活に入るを得て居るのであつて、此の力は科學の説明し得ない、キリスト信者に與へられた無線電信の力である。

矯風會は物質的方面にも無論發展の必要あるが、同時に傳道部なるものがあつて、各自の靈性の純潔をはかりつゝあるのである。此の傳道部なるものを益々發展し、矯風事業の根本として一人々々の靈性の聖別につとめ度いと思ふ。無智無學なる私にして、高慢なる私にして尚ほキリストにより再生するを得、世のあらゆる嘲弄、迫害を物ともせず、平和の中に、只神の御用の爲めにと祈るものとせられたのである事を思ふては、感謝の外なく、矯風會の方々と共に腐敗せる我が國を萬世の泰きに置き度いと思ふてゐるのである。

此外に矯風の根本問題とも云ふべきものはないと思ふ

社會矯風と婦人

山室軍平

△黄金時代とは如何

私共は先祖と子孫との中間に立つてるものである。その意味から云ふたら、渡場の船頭である。處が船頭であれば、天秤棒を擔いだ男が來たら乗せて向ふ岸に

渡したらよいのであるが、先祖と子孫との中間にある私共はそうも行かん、子孫に傳ふる時には選擇の必要がある。水漉槽のやうなもので、沙を通して水を入れると綺麗になり、灰に淸水を入れても濁るものであつて、私共はそのどちらかを選ばなければならん。出來ることなら、よい方をして人間の役目を果し度い。然らば如何にしたらよいか、表面上のことを云ふたら、澤山あるであらうが時がない。精神的の方面を云はう。

先づ第一には正義の行はるゝ社會にし度い。今の世は餘りに僞りが多い、親が子供を育つるに當つて、欺まして物を敎へる。約束を破る事を平氣に思ふ。見本と賣出品と異はして何とも思はない。社會に於て正義が行はれないで如何して一日たりとも安心してゐられやうか。舊い話であるが、新島先生が或る時鐵砲を買ひに行つた。鐵砲屋は鐵砲を賣つて、先生に「人がおいくらで買つた」と問ふたら高く買つたやうに云ふて呉れ、と賴んだ。先生はそれなら要りません、と云ふて返した。鐵砲屋も正直者はしやうがない、それではよろしい、と云ふて賣つたと云ふ事である。何でも影日向のない世渡をし度い。都合の惡いやうな事を云ふてはならない、云ふ事は皆な眞實であれ。

次には愛の行はるゝ世の中にし度い。聖書にも「凡て人に爲れんと欲ふ事は爾曹亦人にも其ごとくせよ」とあるが、此の黃金律は決して遠いものではない。行はれ得るものである。二宮尊德が或る時弟子の家で湯に入つた、背中を流さうか、と云ふて來た、その時尊德は曰ふた、湯を搔くと湯が來るやうだがその實は向ふに行く、湯を向ふにやれば來るのである、世の中も丁度こんなものである、と。又云ふた、獸の手は內に曲るが外に曲らない。人間の手は內外に曲る、それで取り込む事ばかりするのは、獸の道であると。商賣人もその通りで、商と云ふ字があらはしてゐるやうに、損德をはかつて自分が買ひ手として滿足するやうな程度に、賣つてやるべきである。かくしてこそ、すべてが好都合にゆくのである。ウヰラード孃は曰ふた「黃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金律のある處に黄金律の行はるゝ時代が來る」と。

第三に理想の社會は純潔の德の重んぜらるゝ處でなければならぬ。こんな事は知れきつた事だが、行はれない爲めに新らしいやうに聞えるのである。汽車の中で新聞を見て矯風會の決議文を見、此方に來てその寫しを見たが、それにはこうある。

今秋御即位式の大典を御擧行あらせらるゝに對し基督教婦人矯風會第二十三回大會は左の決議を爲す。

一、公開の席上に醜業婦を侍せしめざる事、其の他風俗を紊亂する行動の取締を嚴重にせられん事を其の筋に請願する事、

二、精神的記念運動として、今後滿六ケ年を期し、公娼の全廢を議會に請願する事、

これは實に結構な事である。餘り永い間見つけてゐるものであるから、平氣になつて居るのである、多人數が小さな室の中に入り、火鉢を圍んでゐて慣つこになつてその嫌さを感じないでゐるが、一度室を出て新鮮な空氣を吸ふて又室に歸つたら、とても入られないのである。それと同じ事で公開の席に醜業婦の居るなどと云ふ事は新鮮な空氣を吸ふたものゝ堪へられん處であるのである。

第四に理想の社會は萬人同胞のものでなければならぬ。この時代を來らす爲め、吾等は努力せねばならぬ留岡幸助氏が嘗つて澁谷に住んでゐた時、北海道の監獄から出たばかりの男を連れて、司法次官の三吉某氏の宅の祈り會に行かれた。その時三好氏は「神よ此處に集まれる兄弟等を」と祈られた。それを聞いた監獄から出たばかりの男は驚いたのである。兄弟とは何の事誰れの事であらう。自分も兄弟であるのか、國法を破つた此犯罪人を兄弟と云はれるのか、看守の上の看守長の上の典獄の上のその又上の上の司法次官より兄弟と云はれた、と云ふて嬉し涙にむせび、改心したと云ふ事である。兄弟の愛をもつて他人と交る時に、すべての難問が解かれるのである。地主と小作人、貴族と平民、兄弟の愛は此の問題を解く。理想の世界は以上の如きものでなければならぬ。

△婦人の力小ならず

然らば婦人は之れが爲め何をなし能ふか。「天國は芥

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

種の如し、人これを取て畑に播ば、萬の種よりは小けれども、長ては他の草より大にして、大空の鳥きたり其枝に宿ほどの樹となる也」とイエスは云はれた又「天國は麪酵の如し婦これをとり三斗の粉の中に藏せば悉く脹發すなり」と云はれた。之れによつても、婦人が世界を黄金時代とする爲めに盡し得る特典のあるものである事を見る。私は嘗つてウォームス、オッドの監獄を見に行つた事がある。門前に近づいて、右にジョン、ハワルトの像、左にエリサベッ、フライの肖像を見た。之れによりて私は、英國人が囚人を感化するに此の二人の如き人によるものである事を示してゐると思ふた。私が今起つて居る此の議事堂に八年前に一度入つた事がある。それは故ブース大將が此處で話した時の事で、私がその時通辯をなした。その晩の大將の話はよくは覺えてゐないが、七十九歳の老大將、妻を失ふて十六、七年、語つて救世軍の事に至るや、「My beautiful wife」と云はれるのである。これは如何いふ理か。英吉利に行つたら大將及び夫人の事はよく分る

夫人は德に於て活動に於て並びのない方であつた。或る人が云ふた。ブース大將夫妻は八人の子を有つてゐられるが、八人の子はどちらによつて出來た子と云ふ事の出來ないやうに、救世軍なるものもその通りであると。婦人は婦人として幾らでも盡されるものであるウヰラード孃は女子大學々長となり得る身であり乍ら一身以つて矯風事業に從つて今日世界の尊敬を受けてゐるのである。ナイチンゲールにしても同じ事である救世軍の書物「再生の人」に奇跡的働きが載つてゐるが、人間の側から云ふたなら、獻身的一婦人の力である。エンジエル、アジユタントの名ある婦人が極惡非道の人間を救ふた事が大いなる不思議となつてゐるのである。又ルーテルが云ふた「貧しくして妻あるは巨萬の富あつて一人あるに優る」と。ジョン、バンヤンの居つた鍋かけ屋の室を見に行つた事があるが、彼れがその如き狀態より有名なる天路歷程をあらはす事の出來たのは、全く妻によるのである。婦人は妻としてのみならず、母として子に大いなる感化を與ふるもの

であつて、かくして又世に盡す事が出來るのである。不良少年、懲役人などの身元を調査して見ると、殆ど母の愛の缺乏である。惡が母親の愛の缺乏によるとともに、正しい事も母の感化による處大いなるものである。

△力の泉は此處にあり

何の力によつて之れをなすか、婦人でも處女、妻、母として大いなる働きをなす事が出來るのであるが、それも人によるではないか凡人には出來る事でないと云ふ人があるかも知れん。然しそうではない、心掛け一つでどんな事でも出來ない事はない。然らば如何なる力によるのであらうか。

第一は人格の力である、善良なる人である事によつて周圍の人々、社會に貢献する處がなければならん。

大會に出席の代員諸姉

起立せるは渡邊常子女史

エノクの如く神と共に歩む處の生活によつて。彼れは子を有つたその年より神と共に歩む生活に入つた、と聖書にある。又新約聖書馬太傳第五章二節に「イエス口を啓て云々」とある英譯を見ると「口を啓き云々」で同じ事にやはりなつてる。では註解を、と思ふて見ると「此時にはイエスが口を開いて教へたが、常の時は口を開かなかつた」とあつた。これ人格による教育で、殊に婦人は社會の爲め盡す時に人格によらねばならん。その人格は信仰によつて養ふべきものである。

第二は愛の力によつて世に盡さねばならん。僞りの愛をもつて婦人が男子に接するに於ても、尙ほその財產を蕩盡せしむる程のものがあるではないか。眞の愛をもつて人を働かすことが出來ないと云ふことはない

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。私が同志社で苦學してゐた時、一人の看護婦が私の貧乏な事を知つて、足袋一足併も古足袋を呉れた。二十何年後の今日尚ほそれを思ふて、其の人の居つた方角を見て、あの人は親切な人であつたと思ふ愛の心程人の心に徹するものはない。廓清運動で日本に來たグレゴリーと云ふ人が云ふた。自分が嘗て入口で切符を扱つてゐた時、それを見て、ブース夫人に一目そゝがれた、その愛の一瞥が今日私を勵ましてゐるのであると。愛程人を動かすものはない。

第三は祈の力である。眞實に神に祈るその心は婦人として持つべきものと思ふ。横濱に於て英國水兵の上陸した時、集りをしたが、中々靜まりそうにもない。救世軍の士官が立つて「汝の母は今も汝の爲め祈り居るジャック」と云ふ歌を繰り返し〱歌つた。段々と皆の樣子が變つて來て、遂には一同が歌ふやうになつたと云ふ事だが、母の祈りの力をこれで知る事が出來る。救世軍の本營が新橋停車場の向ふにあつた時、借家でやつてゐたのであるが、隣の待合に色々の人が來て騒いで仕方がない、それで「汝の母は今も汝の爲め祈り居るジャック」と貼りつけた。それで人も來ないやうになり。待合から抗議を申し込まれたやうな事があるが、祈る母のある事は力のあるものである。岡山に某と云ふ人あり、もと銀行に出てゐたのであるが、銀行を退いて小金を持つて日本廻りにと出かけた。家では妻と娘が朝な夕な神に祈る「夫の頼りはなけれども、どうぞ再び歸るやう」と。或る時その人が横濱から神戸まで汽車に乘り、今度は岡山の三幡まで歸らうと思ふて船に乘つた。中等客は彼れ一人、明け方に餘り暑くるしいものであるから甲板に出た、欄干と同じ位の高さにまで積んである荷物に腰をかけて居た。急に暑い處より出て冷い空氣にふれたものであるから、眩暈して眞逆樣に海に落ちたのである。船はどし〱進む、助けを求むる事も出來ない。自分は又泳ぐ事を知らないので、ぶく〱沈んで行つた。その時思ひ出した、嘗つて銀行で中食の折り聞いた、人間は浮くやうに出來てゐるものである、自然にさへしてゐたらよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いのである、と。それで自然のまゝにしてゐたら段々浮いて來て頭だけ出す事が出來た。而して過去の非を悔い改めた「神よ、家には妻と娘が自分の爲め祈つてゐる。今死ぬるものなら、せめてあの世でなりとも再會させて下さい。若し助かるものなら何卒一と祈つた折りしも反對の方向より一隻の船が來た船長が甲板にあつて異樣な音を聞きつけ、遂に救ひ上げて貰う事が出來た。一方先きに彼れを乘せた船は三幡に着いた。彼れが居ないので大騷ぎ、その中、神戸についた彼れを助けた船より知らせがあつて、初めて彼れが助かつた事を知つたのである。奇跡の時代は過ぎたのではない。祈りの力によつて斯くの如き事が實際に行はれるのである。祈る力を經驗する事の出來る人は人間業で望み得られない事をなし得るのである。

第四、眞實を盡す事によつて社會改良に貢獻していたゞき度い。安中に湯淺治郎氏のお母さんが居られる。中々の信仰家で、安い買物があれば神樣の分として買ふて、賣金を傳道用とすると云ふ熱心なお婆さんである。彼女に導かれた人は何人あるか分らない。或るお婆さんが「どうして內氣なあなたが傳道など出來ますか」と聞くと彼女は「人の顏を見てると物も云ふ事が出來ないから、疊の目を數へて、云ひ度い事を云ふのです」と云ふたとの事である。東京邊りでは隣りに誰れが居るのか分らないと云ふ有樣であるが、或る人はお湯に行つて湯を汲んでやつたりしてお友達をつくり、訪ねて行つて傳道をし、三人ばかり信者をつくつたと云ふ事である。精神あれば何でも出來る。淺草に救世軍のお婆さんが住んでゐた。朝早く起きて聖書を讀まうと思ふても室が暗いので讀めない。いつでも公園のベンチに腰かけて讀む事にしてゐた。或る朝いつもの通りベンチで聖書を讀み祈禱してゐると一人の人が通つてあなたは信者ですか、と云ふ、そうです、とお婆さん返辭をする。昨夕こゝで斯うして呉れてたら私は今朝馬鹿な顏をして此處を通らないのに、と云ふ。色々話してお婆さんは悔い改めをすゝめ、一所に祈つてる。その中に大勢の人が集つてくる。それで又

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お婆さん皆の者に傳道して歸つた、と云ふ話がある。その後私が大學の青年會で此の話をした、青年諸君は大いに感稱した。一人の學生は會津に歸り教會で説教をし「東京淺草に一人のお婆さんあり、云々」と語つた。これを聞いた會津のお婆さん、毎日格子戸の側で大きな聲で聖書を讀み出した。誰れか通りがゝりの人で聞く人もあるであらう、と云ふのであつた。これを聞いた會津の中學生はまたお婆さんの出來る事なら俺れもやる、と云ふたといふ事である。その後、東京美土代町の青年會館に、鳥居坂のメソヂスト教會に、其の他に此お婆さんの話が出たといふ事であるが、心がけさへあれは何でも出來るのである。人が之れを見過しにする事があつても、眞實をもつてやつてる一人の人を神は見棄て給はないのである。

折角皆様方と共に勉め度いと思ふ。

基督教婦人矯風會

第二十三回大會記錄

四月一日（木曜日）

▲開會式　大正四年四月一日の日は美しく京の地に明け渡り、全國各地よりの代員七十七名は午前九時といふに同志社女學校なる第二十三回大會々場へと集ひ來りぬ。

古田傳道課長司會の下に、最初の三十分間數名の熱誠なる祈禱あり。九時半矢島會頭登壇。讃美歌三十五番の合唱林歌子姉の祈禱に次いで大會執行委員は左の如く會頭によりて指名せらる。

大會委員長　小崎千代子。　會場書記　安中花子。
音樂委員　畑富江子。　接待委員　杉本鉞子。
装飾委員　デントン氏。　集會委員　守屋東子。
會計檢查員　城戸順子。　會場委員　松宮しん子。
新雜誌讀者及新入會員募集委員　長安都留子。

かくて後會頭は三十年以前、矯風會設立當時の事情、及び今後の發展につきて、演説せらる。右終りて十時會頭は壇を下られ、富森京都支部長司會の下に歡迎式に移る。讃美歌合唱三百番、先づ司會者より歡迎の辭あり、合せて此の度當京都に大會開催の運びに至りし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理由に就きても語らるゝ所ありき。大森府知事令夫人及び京都市長よりの祝辭朗讀あり、次いで小豆澤女子師範學校長登壇、物質文明と精神文明の伴ひ居らざる現時に當り社會の風潮を清め行くの任婦人にある事、柔にして而もよく剛を制し得る婦人の力を我れ等が活用し、以て精神界文明の先覺者たらん事をすゝめられて祝辭に代へらる。日の出新聞主筆大東氏又「婦人と文明の關係」につきて語らる。何れも頗る有益なりき。東京青年會及び小橋三四子姉よりの祝電朗讀、（藤井かう子）荒木夫人京都支部を代表して來賓諸氏に答辭を述べられ、會頭發議の下に一同起立感謝の意を表す、讃美歌四百六十二番合唱、祈禱を以て開會式閉會。

▲午前の部　議題提出　藤井かう、

一、大會費の名稱を廢し、義務金の中に之を加ふるの件。小崎千代氏提出

二、萬國本部へ宛て、杉本、守屋、兩姉の働に就き感謝狀を大會より送るの件。幷にデビス孃に結婚の祝狀を大會より送るの件。藤井かう氏提出。

三、課を合併し、副課長を廢し、委員を設くるの件。守屋東氏提出。

四、本部事務所維持のため各會員每月一錢づゝを納付するの件、荒井桐月氏提出、

五、「青年部」の名稱を除去するの件。杉本鉞氏提出、

六、海外通信事項のため特に外國通信書記を置くの件。

七、來年開かるべき萬國日曜學校大會に當り矯風會は何をなすべきか。

八、婦人新報購讀を會員の義務となすの件。松宮しん氏提出、

九、御不快中の本多副會頭に御見舞を送るの件。

十、「會頭」の稱呼は之を矢島會頭に限り、他は一般に「支部長」の名稱を用ふる事。

藤井かう氏より議長選定の動議あり、十八番小崎姉を指名、四番の賛成あり、大會議事長を小崎千代子姉となす。小崎姉大會開會中三日間の副議長として古田氏、城戸氏、杉本氏を指名一同の賛成ありて可決小崎姉より議題一の說明あり、右は從來大會費五錢、義務金十錢と云ひしものを義務金十五錢として拂ひ込む樣に變更するのみにて事實上何の變化もなき事なり。なほ右十五錢の中より萬國本部に會員一名に付二錢づゝの義務金を納付する事等從前の通り、又大會に要する諸費用もこの義務金の中より支辨するものとす。滿場起立して賛成の意を表す可決。京都支部員十二名を擧げて代員席に招待す、右諸姉着席。

議題第二說明、藤井かう。

矯風會近來の發展は杉本、守屋の兩姉に負ふ所多し、我等が負ふところ多きこの兩姉は萬國本部の役員なり、本部に當大會より感謝狀を送るべきの理由明なり、十八番の動議、四番の賛成ありて可決。ミスデビス御結婚の祝辭を送る事、藤井姉提出。七十一番受入の動議を起し、六十二番の賛成あり、一同擧手、賛成の意を表す。時に十二時、主の祈を以て散會す。

▲午後の部　二時開會

讃美、二百六十四番、祈禱、高森姉。

女子青年會より祝電あり、藤井姉朗讀。川邊姉同青年會より送られたる聖句朗讀。エペソ書三章十四より十九まで。

代員點呼、藤井かう子。

出席代員七十七名。

通信書記報告、藤井かう子。

三十五番動議三十番の贊成を以て受入。

青年部報告、杉本鉞子。

現在部數九、本年度に於て東京麻布鳥居坂青年部の解散ありき十五番右解散の理由を質問、部長は簡短に同所に女子青年會設立の事を語らる。

五十番の動議五十六番の贊成を以つて右報告受入。

少年部報告、寺屋東。

七十一番の動議、九番の贊成を以て受入。

婦人新報々告、藤井かう。

五番、新報編輯のため多大の助を供し居らるゝ小橋三四子姉に大會より感謝狀を送るの動議を起さる、林姉贊成、合せて各支部へ約束部數以外に二三部づゝ多く發送されん事を乞はる。藤井姉承諾の旨を述べらる。小橋姉感謝狀起草者として林姉指名さる。九番の贊成あり、可決。

ミススペンサー流暢なる日本語を以て明細に外人諸姉活動の有樣を語らる。外に安息日課長バンホーン夫人の報告あり、十八番の動議三十六番贊成を以て受入。各課報告。

法律課　松宮しん子。

傳道課　古田とみ子。

禁煙課　根本夫人代理、飯田かう子。

十九番の動議十八番の贊成を以て右三課報告受入。

母の課　栗屋夫人代理、十時きく子。

花の課　城戸　順子。

風俗課　名出いく子。

慈愛館報告　ミススペンサー代理、古田とみ子。

四十六番の動議十三番の贊成を以て受入。

文書課　安中　花子。

敎育課　渡邊つね子。

女中夜學校報告　守屋東、夜學校所在地は東京赤坂區溜池三、本部事務所內。

ミススペンサー、慈愛館報告中に洩たる所を附加せられる。安息日課課長山東姉に代りて小崎姉報告。

五十番の動議三十四番の贊成を以て受入。十八番工女課の有無を問ふ五番、設ありとの答に添へて右課長ミスバーンフアインドが目下しきりに女工のための小刊物發行の計畫中なるを報ぜらる。

横濱禁酒會佐藤氏紹介。四百六十二番の合唱武田淑子姉の祈禱を以て四時半閉會。

▲夕の部　午後七時半開會。　司會者、守屋東。

司會者の聖書朗讀に次いで城姉の祈あり、次いで八十三番の合唱引き續き數名のあつき祈あり、三分演說に移る。

題、「我は矯風會員として何をなせしか」

十數名の談話あり興味津々として盡きざるものありき、京都支部湯淺姉の御あいさつあり、同支部よりの茶菓の饗應に打ちくつろぎつゝなほ

語りつゝく、大阪廣岡夫人より「キリストと其使命」なる小册子の寄贈あり、九時閉會。かくて第一日は希望と喜の中に更け行きたり。

二　日（金曜日）

▲午前の部　九時開會、讃美歌四十五番合唱祈禱城姉、聖書朗讀田山姉前日記錄朗讀會場書記、二三の訂正を經て通過。小橋姉への感謝狀を渡邊姉朗讀通過。

時事問題報告、　藤井かう。

御即位大典に當り、賤業婦が公會に出席するを禁止せられん事を其筋に請願する事、京都支部より提出あり、林歌子姉說明の勞をとり、六十七番贊成の意を表す。議長は具體的の案を求め、林姉よりは委員附托の動議あり、五番は討論の必要ありといふ。八十四番此の際各支部に於て風俗課設立の要あるを主　張す、十八番豫防は早きを可とすと。三十六番かゝる事は先づ官憲との交涉第一なり、又この祝典に當り我等矯風會員は何物か精神的に之を紀念するの働を殘すべきなりと。十九番こは唯に京都支部の問題に非ず、全國會員協力を要すと。八十番今後之を祈りの題となすべし。討論終結、右議題委員附托。

二、御即位御大典を紀念するため公　娼全廢請願をなす事。

外に本部より提出のものあり、曰く御祝典に際し、休　憩　所を設け、或は特典を請ふの件。右御即位式に關する議題調査のため議長は左の人人を委員として指名す。

宮森、湯淺、渡邊、名出、城戸、林歌、松宮及びミススペンサー。

次の議事に進む。

外國通信書記を置くの件。　說明者　藤井かう。

追て會の發展に伴ひ、通信事項も複雜になり、一名の書記にては、到底外國へも當地の事情、狀況等を充分には通じ難しと。十八番適任者を擧げて之が實行を計るの動議。四番の贊成ありしも三十六番より質問起る、外國人の通信、度數は何度位ありやと。五番通信書記の事務の重大なるを說き一名をして内外を司らしむるは全く不可能なりと言ふ。三十五番内外二名の通信書記を置くの件に再び動議を起し、二十四番の贊成一同擧手、可決。

三、日曜學校大　會に當りて矯風會は何をなすべきか。

二の宮姉萬國よりの代表者を迎ふる橫濱市の風俗矯正の必要を說かる。渡邊姉こは風俗課或は交際課の責任なりと語らる、交際課々長杉本姉外國人に對する時、日本人があまりに己を卑下するの愚に陷るを戒しめらる。七十五番之に就きてはなほ日曜學校同盟會とも交涉し研究を重ねたる後、來年度大會に於て具體的の案を立て熟議しては如何と。一同贊成。

本多副會頭に御見舞を送る事。或は各支部より送るべしと云ひ、或は大會々場よりと云ひ、議論區々たりしも結局大會より送る事に可決。直ちに集金す。

三十五番、不慮の負傷にて苦しみ居らるゝ神戸女學院ミスソールへ大會より見舞狀を送るの動議十八番贊成三十五番右起草員として杉本姉を指名。本多副會頭への見舞金總計十九圓二十二錢之を二十圓になして送る事に決。之より役員選擧に移る司會者松宮しん、選擧委員渡邊つれ、十時きく。馬場まつえ子の祈禱を以て開始、司會者及び選擧委員より選擧の神聖にして飽くまでも愼重の態度を以てなすべき事の注意あり、書記は前年度役員氏名を朗讀す書記が一票を投ずる云々」の語句に就き議論あり、結局今回は之を從前の通りの意義に解し置き選擧に移る出席代表七十七名、初めて會頭の選擧あり、矢島楫子七十二票、全會の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

望に依り復選の煩を略し、書記は全會を代表して矢島楫子に一票を投じ本年度會頭として矢島楫子當選せられたり、副會頭選擧、最高得票者本多貞子、四十二票、之も本會の望の下に書記は一票を投じて復選をはぶく、時に十二時五十分、時間を省くため臨時の方法を取りては如何との動議起り、贊成あり、可決、四十六番より、會計記錄書記、內國通信書記に留任を請ひ、外に外國通信書記として杉本エツ子姉を擧ぐるの動議あり、三十四番贊成一同擧手、同意を表し、可決。議長は全會を代表して前年度役員諸姉の勞を謝す、新任役員登壇、三十五番一同を代表して歡迎の辭を述ぶ、閉會、

午後一時半より二時半まで青年部集會ありたり、神戸、京都、水戸、東京芝區三田フレンド青年部、小石川、山梨英和女學校等各青年部よりの報告ありたり。

▲教育者大會午後三時半　司會者渡邊つね子

八百餘名の教育者列席せられ、大森府知事の祝辭あり、安井哲子女史、高島平三郎氏の演說ありて六時閉會、なほ林歌子氏委員總代として決議文を朗讀せり。

三　日（土曜日）

▲午前の部　九時開會　讃美歌、百六十一、祈禱、萬代姉

大隈總理大臣の祝辭及、仙臺日曜學校大會祝電朗讀　藤井かう

決議文朗讀　林歌子

なほ、右決議案實行の第一歩として今日午後より會頭及び其他の役員には大森府知事を始め市の有力者諸氏を訪問して我等の意のある所を述べ、又本部はこの決議文を各支部に送り、各支部は第二十三回大會を代表して各地方の長官及有力者を訪問する等「善を行ふに倦まざらん」事を期すべしとすゝめらる。

前日記錄朗讀會場書記

訂正數ケ所動議贊成を經て通過。

財政報告　小崎千代子

事務所維持費決算報告　根本夫人代理小崎千代子

三十五番の動議十八番の贊成を以て一同擧手受入。

委員報告

會計審査員報告　城戸順子

凡事正確なるを證す

新入會員募集委員報告　長安つる

集會委員報告　守屋東

祈禱會二、課長集會二、

守屋姉事務所維持に對する會員各自の責任を語らる。

議事

本部事務所維持のため各會員每月金一錢づゝを納付する事。荒井姉提出

杉本姉の說明あり、五番各支部熱議の上一定の年額を定めて之を幾回かに拂ひ込む事は如何と、八番各支部より十錢以上應分の金品を納付する事。五番各支部より十錢はあまりに少額なり。

三十五番、各支部特殊の經濟上の困難はあるものなり。

十八番、是は直ちに決議せず、唯各會員は事務所の事を覺え、之がために盡す事を計るといふに止め置きては如何と云ふ。富岡支部は一人五厘づゝの割合を主張。藤井姉、矯風會員各自が事務所のために出金するは絕對の義務なりと語らる。右は即刻に決議せず、代員歸國の後書面を以て回答の事と決す。ミススペンサー慈愛館のため滿場の注意を求めらる

議題、會員移轉の際は會籍を附近の支部に送る事。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十八番、こは各會員入會の節よく含み置くべき事にして議題として討議すべき性質のものに非ず、三番、各支部適宜の方法を取る事の動議あり七番の贊成、可決

婦人新報購讀を會員の義務となす事、松宮姉提出、七十一番、購讀の義務あり二十五番讀むべき義務はあり、とるべき絶對的義務はなしと四十六番の動議、五番の贊成、可決。

「支部長」の名稱を必ず用ふる事。

議題として論ずべきものに非ず單に一の注意として受け入れらる。

「事務所敷地購入の件」　杉本姉説明

昨年現今の事務所を買入れしは必要に迫りたる故なり、然れど右は狹少に過ぐるの感あり、偶々會頭は舊生徒より謝恩のため送られし二千圓の金員を矯風會に御寄附あり、即ち今の事務所を二千圓位にて賣却し之を合せて敷地購入の件とのはゞ、アメリカには既にデビス御冊子の盡力にて集り居る五千圓の金額ある事なれば之を建築費に宛て得べく、敷地は既に尊賢寺氏御助力の下に撰定も終り居る事なれど、そのためにはなほ二千圓の不足あり、之を各支部にて負擔すべきものとす云々のくはしき説明あり、時に在日本外國婦人矯風會々頭ミススペンサーは、同會より三百圓の寄附を申込まる、三十五番、神戸支部及靑年部を代表して百圓の豫約をなす、五番御大典の記念としてこの事務所を建築し度しと、同志者靑年部、堺支部、高崎支部、山梨支部、小石川支部、京都支部、水戸、若松、小石川靑年部等續々代員起立、心強き約束あり、今月中に約束金額を通知の事に決定。なほ右金員の作り方は各支部適宜の方を取るべき事。全員起立、富森姉、一同を代表して矢島會頭及ミススペンサーに謝辭を述べらる。

靑年部副部長岩村やす子氏より祝電あり、上州支部は一年一回位巡回員の派遣を求む、實行すべしと議長の答あり、横濱ミスアルカードより外國婦人矯風會を代表して祝辭あり、此の時京都帝國大學より來狀書冊五十部の寄附あり、今秋米國シアトル市に開かるゝ矯風會大會の代員としてやがてかの地に渡らるべきミススペンサー及び古田姉の御出席を請ひ之に對し、兩姉の快諾あり。二十四番大會より守屋姉慰勞の動議、三番贊成、本部附托。

▲賞旗授與式

賞旗は外國婦人矯風會へ。少年禁酒軍賞旗は東京中央少年禁酒軍へ。京都支部、神田支部、神戸靑年部、大阪博愛少年部、若松新興會少年部へ賞金の授與あり。

既に十二時を過ぎたれども一同の贊成に依り、殘りの議題靑年部名稱除去の件を討論す。右反對否決。

三十五番發言の下に靑年部賞旗作成のため集金し、六圓九十七錢を得、特別寄附三圓三錢ありて拾圓となり。星野姉全會を代表して京都支部長富森姉に謝辭を呈す。小崎委員長よりも謝辭あり。古田姉會場書記に慰勞の辭を送らる。讃美歌三百九十二番の合唱山梨支部代員の祈禱を以て十二時半閉會。課の數を減ずるの件は會食後、希望の間にて有志者討議の事。大隈伯夫人、廓清會、共勵會より祝電ありたり。

▲午後の部　追悼會、一時半、城戸順子司會。

讃美三百五十六、聖書朗讀司會者祈禱小崎夫人

昨年より今日迄の間に主の許に召されし愛姉方は合せて十四人なり。故愛姉方所屬の支部代員簡短に故人の性格言行に就き語らる。

靑年部合唱原市支部太田姉の祈禱を以つて追悼會閉會。この日大阪日の出新聞五十枚の寄贈ありたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宗教文學より受けたる恩惠

松本雲舟

一

私の心は近頃紊れてゐます。自分の生涯をいかにしたら善いか、今更想ひ迷つてゐます、頭が單純でなくなつたからでせうか、左を顧み右を眺めたりする自分の姿を憐れに感ぜられます、主耶蘇のため此一事を努むといふ觀念が鮮かでなくなりました。自分にとりて「此一事」とは何にか、一寸見當がつかぬ。これは私の日常の煩悶です。所で過去を顧みて見ますと、十年前の過去には、「此一事」が、鮮かであつたやうに感ぜられます。即ち其頃の自分は宗教文學を以てわが天職と心得てゐました。學窓を出てからも其方面に力を注ぎ、及ばずながら宗教文學に關する著譯を公けに仕たわけでした。「何處に行く」や、「神々の死」や「基督」傳やバシャンの三大著の紹介の如き、皆私の初一念の實現であります。併し其のために獲た物質上の報酬は辛うじて私の生活を支へるに過ぎませんでした。又さういふ外國の宗教文學の紹介だけでは、どうしても滿足が出來ない、自己の宗教的信念から湧き出づる産物がなくてはならぬ。其のためには生活狀態をもつと安固にせねばならぬし、自分が生きてゐる社會にもつと接觸せねばならぬといふ考へから、現在自分のやつてゐる所は外見私の初一念から大分遠かつてゐるやうであります。かやうに遠かつて初一念を想ひますと、果して自分にはさういふ偉大な能力があるかどうかといふ疑ひがむら〳〵と起つて參ります。其故私は初一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

念を捨てゝ、もつと卑俗な處に自分の身を落着けねばなるまいかと想つてゐるのです。今の所どうして善いか、自分ながら解りません。

二

けれども過去七八年の間に宗敎文學に關する書物に筆を執つた爲めに、受けた恩惠は澤山にあります。それは大に感謝せねばなりませぬ。私は生來粗野な鈍物で人情の機微などは餘り感知する力を持つてゐませんでした。けれども今はいくらかさういふ人情の深みを掬みわける事が出來ます。これは全く宗敎文學に依つて情緒を養つた結果だと想ひます。自分をつねらずとも他人の痛さが解るほどに温かなハート、人の罪を赦すことが出來る寛大なハート、椽の下の力持をすることが出來る程に自己を主張せず、他人の我を容れてやることの出來るハート、さういふ點に於て幾分私が會得した所がありとすれば、それは宗敎文學の大なる賜物です、現在も私はそれに依つて動いてゐます。私は理性に依つて動くよりも、情に訴へて事を爲す時に更に一層大なる働きの出來る事を日常經驗してゐます。理性では算盤に合はぬ事は出來ない。三段論法の範疇を越へることが出來ない。けれども情に依つて動く時に私共は算盤の桁をはづすことが出來る。基督敎の最も大なる力は理性を超脱した所にある。理屈拔きにした所に秘訣がある。子が母を慕ひ、人が神を慕ふのに、何んの理屈がありませう。理屈に合はぬなどいふ事を云々するやうでは、共に基督敎を語るに足りませぬ。情に依つて動く、これは一面最も危險な事でありますが、乾坤一擲の事業は之がために成るといつて可いのです。

三

偉大なる宗敎文學、私は之れを紹介する間に信仰上知識上大なる益を得ました。若し私の出した書物から益を得た者ありとすれば、それは先づ第一に私であることを告白せねばなりませぬ。「何處に行く」の筋など、

大抵忘れてしまつたが、唯一つペテロが神を見たる人として、羅馬の人々に耶蘇を紹介してゐる有様は、今も尚私の胸に深く燒きつけられて不滅の姿となつてゐます。自分の見た所を語る、これペテロの大なる力でした。いな凡ての基督者の大なる力であらねばなりませぬ。神を見たるペテロが羅馬に打勝つたのは、當然であります。それから「神々の死」に於ては、形式化する事のいかに深く戒しむべきかを感じました。ペテロ、パウロの新らしい活ける力に依つて羅馬を支配した基督教も、星移り人變つて、凡人の手に委ねられるやうになると、溌溂たる生氣を失つて、徒らに煩瑣な形式になつてしまひました。背教者ジユリアン帝が滅ぼさんとした基督教はさういふ形式的な基督教でしたけれども活ける信仰は隱れた無名の人々の心の裡にありました。ジユリアンは隱れた信仰を滅ぼすことが出來なかつたのです。これは今でも同じ事で、基督教を眞に代表する者は知名な牧師や說教者ではなく、無邪氣な心を以て主を慕ふ無名の男女であります。天國に於て最も大なる者は、此世に於ては最も小なる者と申すことが出來ませう。

兎に角私は「何處に行く」に於て、基督教の新しき溌溂たる力に接し、「神々の死」に於ては、其の力を永久に活すものは、人であつて、形式ではない事を深く考へさせられたのです。律法を排斥したパウロの精神が窺はれるのでした。基督教は天國の奥義である故に人から人に傳ふべきものである。人と共に起り、人と共に滅ぶべきもので、教理として人から離れて獨立に生きることは出來ない。パウロ起らざりせば、十字架の教へはどうなつたか解らない。耶蘇も死に先んじて、不甲斐ない弟子達に對して斷腸の想をされたのも之れがためでせう。

其他の著述に於ても私がそれぐ\得たる利益は茲に數へ切れぬほどありますが、今は省きます。

霜の王樣

安中花子

昔の昔、大昔の或る年、それは〳〵寒い冬が廻つて來た事がありました。どこもかしこも氷が張りつめて終には人の話す言葉までも霜の王樣におさへられ凍らせられて仕舞ひました。腹を立てた人の小言も、笑ひ興じて居る人のぢやうだんも、小さな〳〵聲で言つた秘密話も、あれと言はず、これと言はず、みんなこの王樣の大きな手の中に握られて、しつかりと凍つて仕舞つたので御座います。

漸くの事で待ちに待つた太陽大王樣の世がめぐつて來ました。光り輝いた軍勢を召し連れて、靜々と進んで御出でになつた大王太陽の威光に打たれて流石の霜の王も見る影もなく消え入りました。

何處もかしこも生き返つた樣に賑やかになりました暖い空氣、柔い風に解かされて、凍り付いて居た澤山の聲は一時にガヤ〳〵と、まるで蜂の巣でも破つた時の樣に聞えて來ました。

憎々しい喧嘩聲、うるさい小言、美しい親切な情の言葉、皆、一時に響いて參りました。幾月か前に自分の口から出した親切な言葉を再び耳にして喜びの目を見張る人、我と我が荒い聲音に堪へ切れず、耳をおさへてにげ出す人、それは〳〵種々樣々で御座いました。

さて皆樣、若しあなた方と私とが、其の日、太陽大王の御通りになる處に居ましたら、如何で御座いませう。

消えたと思うた自分の言葉が響き出して來た時、私共はにげ出す方の仲間だつたでせうか、それともニコ〳〵と笑つて自分の聲に聞き入つて居た事で御座いませうか。一寸考へて見るのも、面白い事で御座いませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或る日の夕餐

木村龜井子

△魚ライスカレー　比目魚一匹（但し白身の魚なれば何にても差支へなく、牛肉なれば引肉を用ふ）馬鈴薯十個、人參一本、玉葱小三個、カレー粉大匙一杯半、メリケン粉、鹽小匙四杯、油はヘットを用ふ。三枚に卸した魚を細の目に切り、うすく鹽を振りて置く。馬鈴薯を丸ごと茹で、ホークか箸にさして熱き中に皮をむき、細の目に切る。人參も玉葱も出來る丈細かく剉み置く。フライ鍋にヘット大匙一杯位にて人參玉葱芋を順次別々にフライして、大形の鍋にうつし、魚はフライして別にしてをく。鍋には水を八分目位迄入れて火にかけ、能く煮たて先のフライしたるものより白き泡が浮けば玉子の白身又は殼を四つ割にして入れ、泡を取る方よろしく、此の時カレー粉を入れ續いて鹽にて味を附ける。火より下す前にメリケン粉を水で溶かし込み、又先の魚を入れる。肉の場合にはフライして後野菜のよく煮立ちたる頃入れて、共に煮ればだしが出て、味よきものとなる。

△ほうれんそうサラダ　ほうれん草一把半、うど半本、サラダの葉、茹出玉子一個、カラシ大匙一杯、砂糖、鹽小匙一杯。

ほうれん草を茹で、之を細かくきざみ、別にうどを短冊に切り、酢に浸し置き、サラダの葉を一枚〳〵へぎ、能く洗ひて鹽水につけ置き、皿に此葉をならべ、眞中にほうれん草を山に盛り、其の廻りにうどを置き鹽をふりかけ、玉子の茹でたのを黃身は取りて白身丈け竪に薄く輪の如く切り、之れを一つ其の上にのせ、今度は黃身を裏漉にて漉しながら振りかける。酢の作り方はいつも同じく、黃身を潰し、カラシ、鹽、砂糖、を入れ、酢で溶かし、玉子の白身を載せる前に之れを匙で適宜にふりかけ置く。

各地通信

本部

四月十二日午後三時より本部事務所にて常置員會を開く、矢島會頭は大會後未だ御歸京なきを以て、杉本氏司會せられ左の報告及議決をなす。

△第二十三回の大會は京都に於て首尾よく結了し、殊に本年は非常なる盛會にて出席代員七十七名を得たるは、これ迄の記錄になき事なりと其他樞要事項に關して藤井かう子より報告す。

△萬國本部ゴルドン女史より來狀ありて、デビス孃の代りとしてミス、ルエスを推薦し、目下該ミツシヨンに交渉中なりとの事。

△此の年度に於ては特に課長の方に御願して各支部に各自の課を設立するために盡力を乞ふ事併せて來年の大會には課長の方は一人も殘らず出席せらるゝ樣今より其の方針を取る事。

△大會に於て決したる決議文につき、文書課長に交渉して趣意書を調製し、印刷に附して各支部に送る事。

△新任課長を左の如く決す。

法律課長矢島楫子。同副課長松宮しん子。
軍人課長清水富貴子。同副課長富永のぶ子。
文書課長安中花子。
花の課長城戸順子。同副課長石原喜久子。
母の課長粟屋榮子。同副課長木村龜井子。
禁酒禁煙課長根本とく子。
教育課長渡邊つれ子。同副課長飯田孝子。
風俗課長名出いく子。
救濟課長島田のぶ子。
議事法研究課長田山せい子。
傳道課長古田とみ子。
衛生課長大關ちか子。
安息日課長山東泰子。同副課長湯淺はつ子。
交際課長杉本鉞子。
工女課長ミス、パンフハインド。

當日の出席者は井深、小崎、杉本、木村、田山(パンフハインド氏代)松宮、岩村、藤井の諸氏なり、番外出席員として川濱ろを子、北原、岡林、宇佐氏ありたり。

麹町

四月十二日(第二月)午後一時より料理研究會を事務所に開き、松宮しん子氏は簡易なる菓子の拵へ方を敎へらる。かくて後大會報告に移る次第なりしも、常置員會と同時なりしを以て同席となしたり(藤井かう)

下ノ關

大正三年六月當支部の再興以來毎月一回宛例會を開きて先輩諸氏の敎話を聞き又會員各自の感話を交換して親睦をなせり。會員の數は目下三十九名なり。事業としては諸講師の敎によりて各自の感想を闘はし、修養の資に給し、敎育事業としては各良家の女中約九名に對し、彼等の心得を訓話したり。(黑木ます子)

牛込

四年一月二十二日午後二時より岸本とし子氏宅にて婦人會新年會を開き、兼て當支部の例會は從來年に三回と決し居るも、會の發展上例會を毎月第一土曜日午後二時より毎會早稻田敎會にて開會する事に決定す。當日村田よし子氏轉入せらる年頭早々有力なる會員を得たるを感謝す。

二月六日(土)午後二時より早稻田敎會に於て例會を兼れ、傳道の意味に於て、未信者を中心とせる母の會を開く。寺澤支部長の司會にて讃美歌朗讀、祈禱あり、本部母の課長粟屋榮子氏より兒童の躾けに就ての感話あり、松宮しん子氏は宗敎々育の大切なる事を述べられ、最後に寺澤みか子氏は祈を以て子供を育つる事につき奨勵せられたり。竹内ふみ子氏の熱心なる祈禱を以て閉會後懇談をなしたり。來會者十六名新入者一名を得たり。(書記松宮しん子)

(右牛込支部の報告を前號に記載する筈なりしも、記事の都合にて延びました事をお詫び致

します。（藤井かう）

京都

三月四日例會を假事務所に於て開く。讃美、祈禱の後大會のために種々の相談をなし、大會準備委員の撰定をなして閉會す、出席者二十餘名。

三月六日大會準備の第一着として家庭的音樂會を青年會館にて開催す。神の御恵と會員諸氏の御盡力と聽衆の多大なる御同情により最も盛大に行はれ、實に豫想以上の好成績を與へられ感謝に堪へず。（書記中瀨古きわ子）

水戸

三月十三日泉町浸禮教會に於て例會を開く。支部長ピンフォード夫人司會の下に禮拜を以て始め、事務に移り、書記前回の記錄朗讀、會計、通信書記并に役員會の報告につぎて各課の報告に移る。始めに會計は大會に就きて會員一同に意見を述へらる。敎育課は前回報告せし掲示板に就きて警察の許可を得たる旨を報告し、この實行は役員と相談の上に決すべしと述ぶ。母の課、法律課は露國に於ける禁酒令の事を報告す。花の課は板垣久米子氏の永眠されし時花輪を贈呈せし事、并にダリヤの苗を會員一同に分配せし事を述ぶ。

右終りて議事に移り、大會に本會を代表して渡邊清野氏に出席を乞ふ事に決す。會計より提出せる「會員は大會の時に際し特に義務金と大會費を納むべき事」といふ議案に一同贊成す。

當日は衛生課の主催なりし故、茨城縣衛生課長北村美次郎氏の傳染病及其豫防法に關して一時間餘に亘る有益なる講話あり。次ぎに加藤萬治氏同じく衛生及び育兒法に關して講話せらる。出席者十八名。各々心を雪よりも白く清められ四時半過散會せり。（書記鈴木すゞ子）

弘前

一月廿三日午前十一時より高谷氏宅にて例會を開き、讃美、祈禱、聖會朗讀の後會計及慈善金の報告ありて會長は「我れ如何で此大なる惡を犯して神に罪を犯すを得んや」とのヨセフの言葉を引きて有益なる御話をせらる。閉會後病床にあらるゝ油布姉に御同情を表し、又轉地せられし平林姉を想ふのあまり、種々の御話をなしたり。出席者二十一名。

二月十一日午後二時より少年禁酒軍第十三回紀念日に婦風會も合併して會を開く、少年本多曉次氏の司會にて左の順序により規律正しく進行せり。

一、敬禮。二、誓約暗誦。三、唱歌。四、聖書暗誦。五、祈禱。六、開會の辭。七、唱歌。八、報告。九、對話。十、唱歌。十一、お話。十二、對話。十三、唱歌。十四、所感。十五、對話。十六、お話。十七、唱歌。十八、お話。十九、お話。二十、唱歌。二十一、對話。二十二、演說、唱歌。

閉會後入會志願者には兩親宛の手紙を與へ、來會少年に漏れなく少年新報を配布せり、來會者百六十名餘。（書記高杉つる子）

婦人新報代金領收

一金貳拾貳圓貳拾五錢（二百十一號二百十二號） 大阪婦風會
一金拾六圓貳拾錢（大正四年六月迄） 芝婦風會
一金貳圓（特別寄附） 佐竹松枝
一金七拾錢 大谷駒子
一金拾圓拾五錢（大正三年下半期分） 相州婦風會
一金拾八圓拾五錢（四年三月迄） 麴町婦風會
一金四拾八錢（四年四月迄） 深尾いそ
一金七拾錢（同十二月迄） 山下あい
一同（同） 北村ちよ
一同（同） 角田てふ
一金七拾錢（五年二月迄） 大藤八重
一金參拾五錢（四年六月迄） 皆川せき
一同（同） 長田いせ
一同（同） 森川まさ
一同（同） 小林きく
一同（同） 落合てる
一金七拾錢（十二月迄） 宮田かや
一金參拾五錢（六月迄） 荻原五百枝
一同（同） 高橋つる

以下次號

rather weak, and the expense of a Convention is a matter requiring much consideration. The first place offered, this year, was Yokohama. and so that place was the one chosen for next year.

During the business session two important resolutions were passed. The first was a pledge of all the members to use every possible influence to have women of doubtful character kept in the background during the approaching coronation festivities. The second pledge was to work for the abolition of the entire brothel system by the end of the next six years.

These two resolutions, together with a written message from the Premier, Count Okuma, expressing his hearty approval of this wish of the women of the Convention, was presented by Madam Yajima to the Governor, the Mayor and the Head of the Police, accompanied by a request that these gentlemen would use their influence for the same object.

A copy of the message and the resolutions, was taken by each Branch to be presented to the local authorities of the various localities.

A buzz of excitement passed over the room, in the meeting where mention was made that Madem Yajima had presented the sum of Yen 2,000 to the Society, to be added to the Yen 2000 already in the Treasury, for the purchase of land for a permanent Headquarters Home. It has long been an understood thing that the American W. C. T. U. is ready with a sum for building, whenever the Japan Union should succeed in raising Yen 6000 for the land. As all the members have been heavily taxed in keeping up the work, the raising of this large amount has seemed almost impossible, but the generous gift of Madam Yajima, aroused the enthusiasm of the entire band. This gift was a thank-offering from her old pupils, and Madam Yajima wishes to consecrate it to her life-work, the cause of Temperance. When the Convention realized how much heart was in the gift, all the representatives of the Branch Unions stood up and gave their promise to do their best to complete the amount. It is surprising how enthusiasm can overcome almost insurmountable obstacles. In this one week since the close of the Convention, almost Yen 1000 has been pledged. This, added to the gift of Madam Yajima and the amount already owned by the Society, makes a total of Yen 5000, leaving only Yen 1000 more to be raised.

Thus the Convention closed with pleasant memories and a good outlook for the coming year; but most of all, with many earnest prayers that the main object of its meeting may prove not to have been wasted, for as the month of April holds the riches of blossoms which are a promise for the year's harvest, so the Convention was held with a beautiful hope that this great gathering with its ambitions and prayers and holy purpose, might be a sacred fire which would burn all impure and defiling things in preparation for the dignity of a sublime ceremony;—the coronation of His Imperial Majesty in the Autumn.

Etsu Sugimoto.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

late Mr. Mitsui, and, though an aristocratic lady of rank and position, she is also one who has, with innate ability, made a record in Japan, as a banker and a capitalist. She is an earnest Christian, and her talk was the relation of her own religious experience, and its application to her ambition for her sex. The talk was listened to with greatest interest by the large audience of students, merchants, officials, artisans and people from every walk in life.

The last meeting of the Convention was held in the Y. M. C. A. hall, on Sunday afternoon. About 1200 children were present, for this was the meeting of the L. T. L., under the leadership of Miss Moriya. The entire afternoon was a feast of interest to the little folks, but the Medal Contest was the important event of the day. Seven very small, but very enthusiastic, orators advanced to the stage, and, one by one, presented very seriously, their opinions. Earnest words from innocent children always attract attention, and these speeches of the three little boys and the four little girls, had a wonderful effect on the audience. One boy and one girl, who were judged to have most ably presented their pleas, had the honor to receive copper medals, presented by Madam Yajima. Then Mr. Kurishima appeared upon the platform, and the room echoed with a storm of applause from hundreds of little hands, which clapped a welcome to the man who is loved by all the children of Japan. As he stood looking smilingly down upon audience of gay flowers and bright butterflies, he said, "Ihave the honor to speak to many innocent souls in shapely temples, but who are not yet, entirely safe from a future slavery to King Alcohol"

Mr Kurishima is a strong advocate for total abstinence, and the beautiful and instructive story which he told the children, was one full of humor and pathos, with, at the heart, a strong plea for temperance.

There are some important results of the Convention, which deserve a few separate words. One is the growing interest in all the Branches. This was shown in various ways, one of which was in the desire of four different Branches to have the Convention next year. In the past, it has frequently been somewhat of a problem to find places for meeting, as the Branche felt themselves

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

minute talks on plans, suggestions and exchange of experiences. The very air vibrated with animation and good fellowship.

The second day began with a sunrise prayermeeting, which seemed to serve as a tonic, so wide-awake and enthusiastic were the meetings of that day. In the morning session, the election took place, and it was unanimously decided that the work of the old officers had been so efficient that no change could be an inprovement, so, without exception, they were all re-elected.

In the afternoon, such an enthusiastic Y meeting was held, that it impressed the whole audience with a strong conviction of the importance of encouraging this department of young people upon whom so much depends for the future of Japan.

The latter part of the Afternoon was devoted to the Teacher's General meeting. To this had been invited all the teachers of the schools of Kyoto;—Covernmental, Private, Christian, Buddhist. Also, any other persons who were interested in Educational matters. Over 600 were present. The speakers were Prof. H. Takashima, and Miss Tetsu Yasui. Prof. Takashima is considered the greatest authority in the land on the study of Child Psycology. His subject was "Alcoholism and Inheritance." Miss Yasui is the head lady teacher of the Imperial High Normal School for girls, She was once Governess to the Court of Siam, and her position, as well as her much reverenced personality, gives weight to her words. She is an enthusiastic white ribboner, which was plainly seen in her splendid talk on "Public Sentiment, and its Influence on Girl's Education.

In order to show the common tie with churches of all denominations, in the evening, groups of white ribboners scattered all over the city, attending prayer meetings in the different churches.

An Open meeting was held on the evening of the Third day, in the City Assembly Hall. The room was packed to its fullest capacity. Col. Yamamuro of the Salvation Army, gave one of his usual strong, practical and penetrating addaesses. Prof. Takashima followed with a list of scientific, statistical facts. After this, came a talk by a woman whose personality is remarkable. Madam Hirooka is a sister of the

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD.
(*Fujinshimpo*)

THE 23rd CONVENTION.

The Kyoto Branch of the Japan W. C. T. U. was the hostess of the 23rd Convention, and the place chosen seemed to be ideal. The very name "Kyoto" carries with it the thought of old Japan with its strange history, its quaint customs, its treasures of art and its atmosphere of awe and reverent memories. But into the midst of this past and lost glory, the spirit of Progress has been slowly pushing its way, and the Convention, with its advanced ideas and ambitions, was welcomed by the city with an honest and patriotic spirit of welcome.

Some of Kyoto's most eminent personages honored the meetings with their presence. The Govcnor of Kyoto Fu attended in person the Educational meeting, and his wife read the "Shikuji" (congratulation) at the oponing meeting. The Mayor of the city sent a representative, and there were short addresses on the first day, by the Principals of several Govrnment schools, the head of the Salvation Army and other city organizations, and by the Editors of newspapers.

The Convention was very fortunate in having for its place of meeting, the spacious gymnasium of the Doshisha Jo Gakko, (Congregational school for Girls.) It is a most attractive room, with a beautiful system of lighting and ventilating. The young ladies of the Y department of the school spent their Spring vacation in most graciously receiving and helpiug in every way, the delegates to feel at home during the Convention.

Although this was the 23rd Convention, the Union is really thirty years old, and the world not being blind, it has seen what the Union has accomplished during these years, and each annual meeting shows more plainly its recognition and appreciation. This year's list of delegates, 77 in number, and coming from every part of the land, was the largest ever present. in the history of the Union.

One of the most practically helpful of the meetings, was the gathering of the delegates on the first evening. The time was filled with three-

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝辭

[illegible]

ニシ會ニ衛生的ニ病毒ヲ絶滅セシ

スレハミナラズ道徳的ニ清淨無垢ノ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電、番六二番

東洋内科醫院

院長　醫學士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衛生を重んずる婦人は、
家政の上手なる
最も衛生的にして實用向なる
ライオン齒磨と
ライオン石鹼を
常に其家庭に備へ給ふ。